中国教職員招へいプログラム（中国とのオンライン交流） 交流会（12月11日） 参加者募集要項

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センターでは、文部科学省「初等中等教職員国際交流事業」に係る「中国教職員招へいプログラム（中国とのオンライン交流）」を実施します。つきましては、本プログラムの一部として12月11日（日）に実施する交流会への参加者25名を募集します。

1. 背景

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）は、ユネスコ（UNESCO：国際連合教育科学文化機関）の理念に基づいて、多様な文化が尊重される平和な社会の実現をめざし1971年に設立され、教育と文化の分野においてアジア・太平洋地域の人々と協働して事業を推進してきました。2001年からは、子どもたちの成長に影響をもつ教職員を対象にした国際交流事業を開始し、「先生が変わる 子どもが変わる 未来が変わる 学びの場」づくりを担っています。

日本と中国の国際交流事業としては、2002年に中国から初等中等教育教職員を招へいし、プログラムが始まりました。2003年からは中国政府による日本教職員の訪中プログラムに発展し、今日にいたるまで相互交流が続けられ、併せて2千人以上の中日教職員が海を渡りました。

今年度は、昨年度に引き続きオンライン形式のプログラムを実施し、中国教職員が我が国の教育について学び、日本に対する理解を深めるとともに、日本教職員と交流する機会をつくります。今回のプログラムにおいては多様な背景を持つ児童生徒に対しての教育の重要性が増す中で「多様な子どもが参加することができるインクルーシブ(包括的)な学校づくりを行うために必要なこと」をテーマに様々な経験をもつ中国と日本の教職員が対話・協働し、相互理解を深めます。また日本の学校の魅力的な取組みを紹介し、教職員のみならず児童生徒との交流を通じて日本に対する理解を深めていきます。さらには中国教職員のみならず、日本の参加者も交流により中国の教育について学ぶ機会を設け、双方の国際理解促進に寄与します。本交流プログラムは、文部科学省、中国教育部、中華人民共和国駐日本国大使館、中国教育国際交流協会、ホライゾン学園仙台小学校、AICJ 中学・高等学校の協力により実施されます。

2. 目的

- ・中国および日本教職員が双方の学校教育の現状を把握すること。
- ・中国および日本教職員が日本の学校の特色ある取り組み（教育実践）の好事例を学ぶこと。
- ・中国教職員と日本教職員が意見交換等を通じ交流すること。
- ・プログラムに関わる中日双方の関係者が友好を築き、相互理解の促進、ネットワークを構築すること。
- ・参加した教職員が各教育現場で国際理解または国際交流活動を推進していくこと。

3. 日程とプログラムの形式

プログラムは、下記の日程において Web 会議用アプリケーションシステムを利用したオンライン形式で実施をする予定です。

12月11日（日）14:00～17:30

4. 活動内容

「多様な子どもが参加することができるインクルーシブ(包括的)な学校づくり」をテーマにした中国・日本国内の教職員との交流会・ワークショップ

具体的には以下のような問いについて両国の参加者同士が考える機会を設けます。

- ・「多様な子どもたち」とは具体的にどのような子どもたちを思い浮かべるか？
- ・「多様な子どもが参加することができるインクルーシブ(包括的)な学校」とはどのような学校か？
- ・そのような学校づくりを行うためには何が必要か？
- ・そのような学校における理想の教師像とは何か？

5. 参加対象者（日本教職員について）

- (1) 日本の初等中等教育の教職員である者（教育行政官及び教育専門家を含む）
- (2) 日本また中国との交流に意欲的な者
- (3) プログラム後も中日の国際交流や国際理解推進に積極的に関わることができる者
- (4) 十分なインターネット環境があり、パソコンや Web 会議用アプリケーションシステムの操作ができる者

6. 参加者数

中国教職員 25 名

日本教職員 25 名

7. 参加手続

参加を希望する場合は、11月4日(金) 正午までに参加者シート（指定様式）を電子メールで公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）国際教育交流部 Email: accu-exchange_ml@accu.or.jp に送信すること。指定様式はホームページからダウンロードできる。

参加者シート（指定様式）ファイル名：2022_中国招へい参加者申請用紙（○○○○○）

※ファイル名にある○○○○○は応募者のお名前に替えてください。

※Excel ファイルのまま送信してください。

8. 参加者選考

原則先着順で受け付け、定員になり次第締め切る。

9. 評価と報告

参加者は ACCU の用意する評価票（アンケート票）に入力し、2023 年 1 月 5 日（木）までに ACCU に提出する。

10. 翻訳・通訳

当日は原則として日本語と中国語（普通話）間の逐次通訳が行われる。

11. 経費

ACCU はプログラム期間中の逐次通訳に関わる費用を負担する。

12. 個人情報の取り扱いについて

参加者の個人情報についてはプログラム運営以外の目的では使用せず、厳重に管理するとともに個人情報の保護に努めます。なお、プログラムの準備や本番中に撮影した映像や写真等（評価票も含む）は、ACCU や文部科学省の報告書・冊子・ホームページ等の情報媒体に使用されることがありますのであらかじめ了承下さい。

13. このプログラムに関する照会先

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター 国際教育交流部 杉戸・伊藤

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32-7F 出版クラブビル

電話：03-5577-2853 FAX：03-5577-2854

Email: accu-exchange_ml@accu.or.jp